

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

塩酸アヘンアルカロイド注射液

Opium Alkaloids Hydrochlorides Injection

アヘンアルカロイド塩酸塩注射液

オピアル注射液

本品は水性の注射剤で、定量するとき、モルヒネ
($C_{17}H_{19}NO_3$: 285.34) 0.90 ~ 1.10 w/v% を含む。

製法

塩酸アヘンアルカロイド	20 g
注射用水	適量
全量	1000 mL

以上をとり、注射剤の製法により製する。

性状 本品は無色～淡褐色澄明の液である。

本品は光によって変化する。

pH: 2.5 ~ 3.5

確認試験 本品 1 mL にエタノール (99.5) 1 mL を加えて混和し、試料溶液とする。以下「塩酸アヘンアルカロイド」の確認試験 (1) を準用する。

定量法 本品 2 mL を正確に量り、内標準溶液 10 mL を正確に加えた後、更に水を加えて 50 mL とし、試料溶液とする。以下「塩酸アヘンアルカロイド」の定量法 (1) を準用する。

モルヒネ ($C_{17}H_{19}NO_3$) の量 (mg)

= 脱水物に換算した定量用塩酸モルヒネの量 (mg)

$$\times \frac{Q_r}{Q_s} \times 0.8867$$

内標準溶液 塩酸エチレフリン溶液 (1 → 500)

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 密封容器。本品は着色容器を使用することができ
る。

塩酸リモナーデ

Hydrochloric Acid Lemonade

製法

希塩酸	5 mL
単シロップ	80 mL
精製水	適量
全量	1000 mL

以上をとり、リモナーデ剤の製法により用時製する。

性状 本品は無色澄明の液で、甘味及び清涼な酸味がある。

貯法 容器 気密容器。

オウギ

Astragalus Root

ASTRAGALI RADIX

黄耆

本品はキバナオウギ *Astragalus membranaceus* Bunge
又は *Astragalus mongholicus* Bunge (*Leguminosae*) の
根である。

性状 本品はほぼ円柱形を呈し、長さ 30 ~ 100 cm、径
0.7 ~ 2 cm で、ところどころに小さい側根の基部を付け、
根頭部の近くはねじれている。外面は淡灰黄色～淡褐色で、
不規則なあるいは縦じわと横長の皮目よりの模様がある。折りに
くく、折面は繊維性である。横切面をルーペ視するとき、
最外層は周皮で、皮部は淡黄白色、木部は淡黄色、形成層付
近はやや褐色を帯びる。皮部の厚さは木部の径の約 $\frac{1}{3}$ ~
 $\frac{1}{2}$ で、細いものでは木部から皮部にわたって白色の放射組
織が認められるが、太いものではしばしば放射状の裂け目と
なっている。通例、髓は認めない。

本品は弱いにおいがあり、味は甘い。

純度試験 *Hedysarum* 属植物及びその他の根 本品の縦切
片を鏡検するとき、繊維束の外辺にシュウ酸カルシウムの単
晶を含む結晶細胞列を認めない。

乾燥減量 13.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 5.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.0 % 以下。

オウゴン

Scutellaria Root

SCUTELLARIAE RADIX

黄芩

本品はコガネバナ *Scutellaria baicalensis* Georgi (*La -*
biatae) の周皮を除いた根である。

本品は換算した生薬の乾燥物に対し、バイカリン 10.0 %
以上を含む。

性状 本品は円すい状、半管状又は平板状で、長さ 5 ~ 20
cm、径 0.5 ~ 3 cm である。外面は黄褐色を呈し、粗雑で
著明な縦じわを認め、ところどころに側根の跡及び褐色の周
皮の破片を残す。上端には茎の跡又は茎の残基を付ける。老
根では中心部の木部は腐朽し、またしばしばうつろとなる。
質は堅いが折りやすい。折面は繊維性で黄色である。

本品はほとんどにおいがなく、味はわずかに苦い。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.5 g にジエチルエーテル 20 mL を加
え、還流冷却器を付けて水浴上で 5 分間穏やかに煮沸し、
冷後、ろ過する。ろ液を蒸発して得た残留物をエタノール
(95) 10 mL に溶かし、その 3 mL に希塩化鉄 (III) 試液
1 ~ 2 滴を加えるとき、液は灰緑色を呈し、後に紫褐色に
変わる。

(2) 本品の粉末 2.0 g にメタノール 10 mL を加え、水
浴上で 3 分間加温し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とす
る。別に薄層クロマトグラフ用バイカリン 1 mg をメタノ
ール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、
薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準